

令和5年度 水コン協九州支部・関西支部共催技術講座 実施報告書  
「下水汚泥の肥料利用に関する昨今の動向について」  
～肥料利用の動向、コンサルとしての検討の視点並びに先進都市の事例紹介～

**1. 技術講座の概要**

近年、肥料や燃料価格の高騰が重要な課題となっている中、下水汚泥の肥料利用やエネルギー利用の必要性が高まっています。特に、肥料としての利用は、「食料安全保障強化政策大綱」（令和4年12月27日食料安定供給・農林水産業基盤強化本部決定）において、2030年までに下水汚泥資源・堆肥の肥料利用量を倍増し、肥料の使用量（リンベース）に占める国内資源の利用割合を40%まで拡大する目標が示されました。これをうけて、国土交通省でも、下水道管理者は今後、発生汚泥等の処理に当たっては、肥料としての利用を最優先し、最大限の利用を行うこと、焼却処理や燃料化は肥料利用が困難な場合に限り選択し、その際にはリン回収等を検討することを事務連絡として発出しました。（国水下企第99号「発生汚泥等の処理に関する基本的考え方について」2023年3月17日）このような背景を踏まえ、水コン協会員及び下水道事業関係者に、下水汚泥の肥料利用に関する国の動向、コンサルタントとしての検討の視点、並びに先進都市の事例を紹介することは大変有意義であると考え、今回、九州支部、関西支部共催の技術講座のテーマとして取り上げ、5名の講師をお招きしてご講演頂きました。

**【令和5年度 水コン協九州支部・関西支部共催技術講座プログラム】**

**I. 開催日時**

令和5年11月29日（水） 13:30～16:25(受付開始13:00)

**II. 実施方法（対面形式及びオンライン方式(Zoom ウェビナー)）**

**III. 講演プログラム**

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1) 受付               | 13:00～      |
| 2) 開会               | 13:30       |
| 3) 開会挨拶 関西支部 押領司支部長 | 13:30～13:35 |

4) 講演

- ① 講師：国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市調整官 井上 善之 様  
演題：下水汚泥の肥料利用の拡大に向けて（下水道行政の観点から）  
講演：講演時間 13:35～14:00  
質疑応答 14:00～14:05
- ② 講師：農林水産省 近畿農政局 生産部 生産技術環境課 課長補佐 前原 憲善 様  
演題：国内資源の肥料利用の拡大に向けて（農業行政の観点から）  
講演：講演時間 14:05～14:30  
質疑応答 14:30～14:35
- ③ 講師：(株) NJS 大阪総合事務所 アセットマネジメント部  
プリンシパルエンジニア 森田 耕平 様  
演題：肥料化事業の関係法令と適切に発注するためのポイント  
講演：講演時間 14:35～15:00  
質疑応答 15:00～15:05

— 休憩 — (15:05 ~ 15:20 約15分)

- ④ 講師：神戸市 建設局下水道部下水道計画課 下水道計画係 係長 清水 武俊 様  
演題：神戸市における下水汚泥の肥料化の取組み  
—資源循環「こうべ再生リン」プロジェクト—  
講演：講演時間 15:20～15:45  
質疑応答 15:45～15:50
- ⑤ 講師：佐賀市 上下水道局下水プロジェクト推進部 下水道施設課 吉川 直志 様  
演題：下水汚泥の肥料利用の取組みに関する事例紹介  
講演：講演時間 15:50～16:15  
質疑応答 16:15～16:20
- 5) 閉会挨拶 九州支部 松尾支部長 16:20～16:25  
6) 閉会 16:25  
7) 参加者数 合計 186名(協会員 167名、地方公共団体 18名、その他 1名)  
① 対面形式 44名  
② オンライン方式 142名

## **2. 出席者の状況とアンケート調査結果**

アンケート調査では、135名の方から回答を頂きました。

「本技術講座に参加した印象」について「大変有意義だった」及び「有意義だった」が合わせて95%を占め、参加者からは大変良好な評価を頂くことができました。

同様に「理解度」についても、「大変よく理解できた」及び「大体理解できた」が合わせて95%を占めました。

さらに今回は下水道行政及び農業行政の視点からだけでなく、先進取組事例紹介及びコンサルタント視点までを講演内容に盛り込み、「下水汚泥の肥料利用」に関する具体的な取組み方等について参加者の理解を深めやすいよう心掛けた結果、「参加後の仕事のかかわり」について「積極的に活かしたい」及び「部分的に活かしたい」が合わせて95%を占めることができました。

## **3. 最後に**

本技術講座は、持続可能な食料システムの確立に向けて各種施策が求められている中、「下水汚泥の肥料利用に関する昨今の動向について」をテーマに取り上げ実施し、アンケート調査結果が示すとおり参加者にとって非常に関心を惹く有意義な講演内容でありました。

また今回は、水コン協として支部間連携による効率的かつ効果的な支部活動の活性化を図ることを目的に、九州支部・関西支部共催で実施させて頂き、我々の次につながる大きな経験となりました。

水コン協では今後も国が推進する各種施策について、各事業者様への導入の糸口となり、また理解を深めて適切な施策を有効かつ効果的にご活用頂けるよう、講習会等を通じて上下水道事業への貢献(先進技術の周知と次世代への技術継承)を継続的に行っていくことが必要であると考えております。

この度ご講演頂きました講師の井上様、前原様、森田様、清水様、吉川様ならびに司会進行頂きました水の天使の竹田様にはお忙しいなか、快くお引き受け頂きまして誠にありがとうございました。改めてここにお礼申し上げます。

【令和5年度 九州支部・関西支部共催技術講座 会場の様子】

< 司会：水の天使 竹田 聖彩様 >



< 開会挨拶：押領司 関西支部長 >



< 講演1：井上講師 >

「下水汚泥の肥料利用の拡大に向けて(下水道行政の観点から)」



< 講演2：前原講師 >

「国内資源の肥料利用の拡大に向けて (農業行政の観点から)」



< 講演3：森田講師 >

「肥料化事業の関係法令と適切に発注するためのポイント」



< 講演4：清水講師 >

「神戸市における下水汚泥の肥料化の取組み」



< 講演5：吉川講師 >

「下水汚泥の肥料利用の取り組みに関する事例紹介」



< 閉会挨拶：松尾 九州支部長 >



< 聴講の様子① >



< 聴講の様子② >



< 講座終了後の記念撮影 >

皆様お疲れ様でした



以上